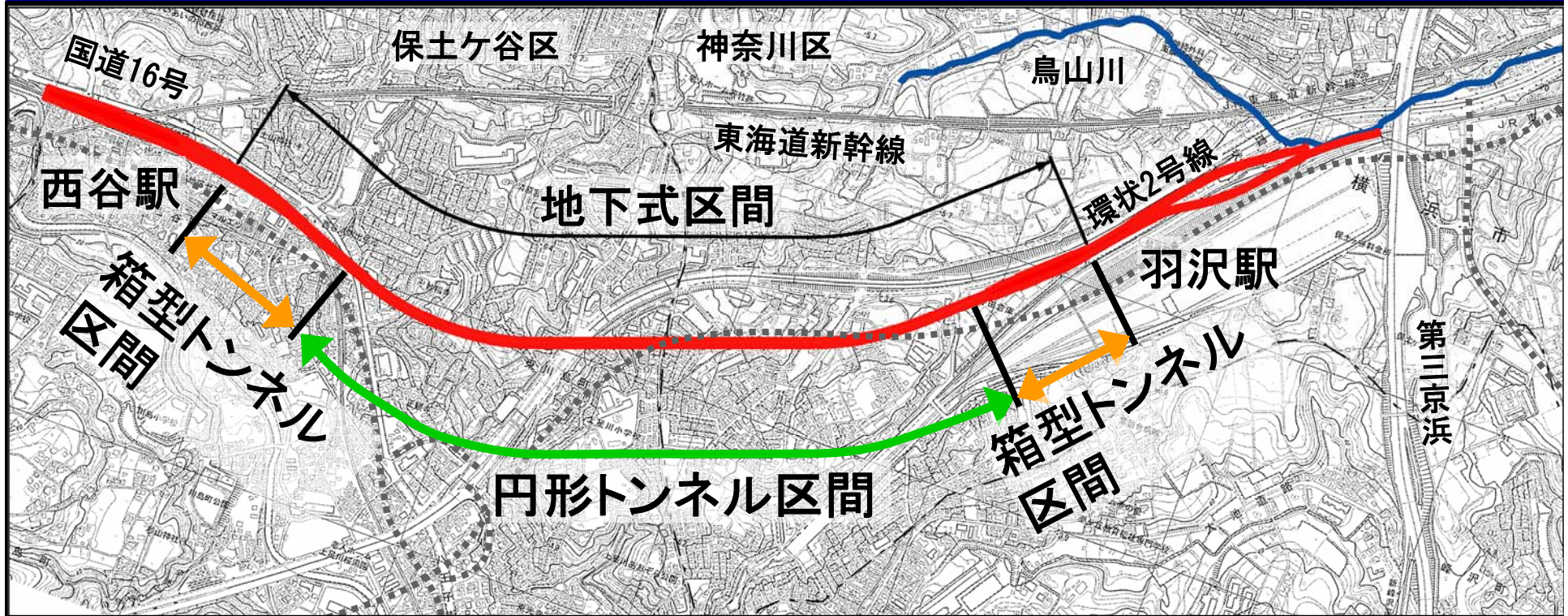


地盤沈下

工事中

地下水位の低下に伴う地盤沈下

予測区間（地盤沈下）



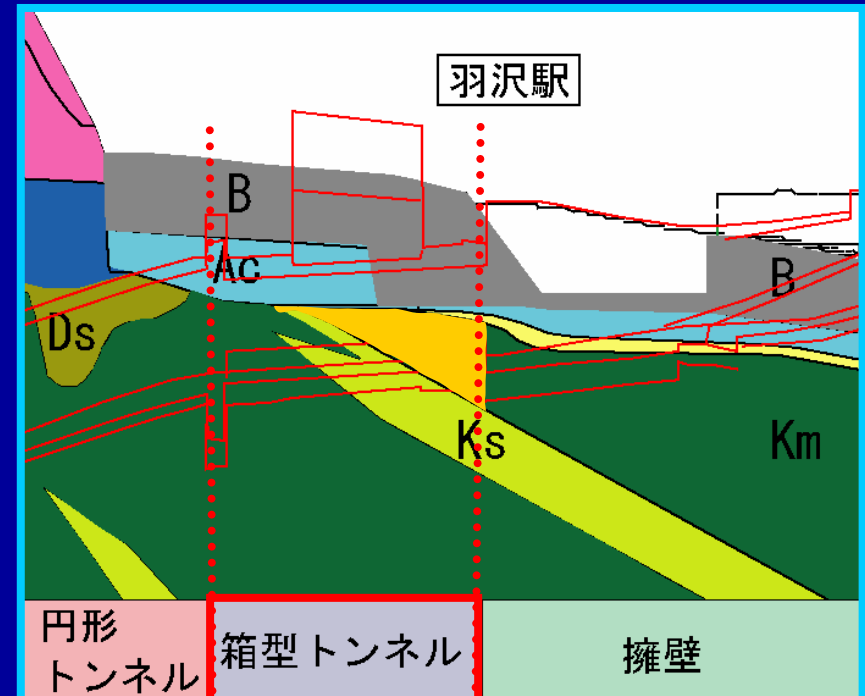
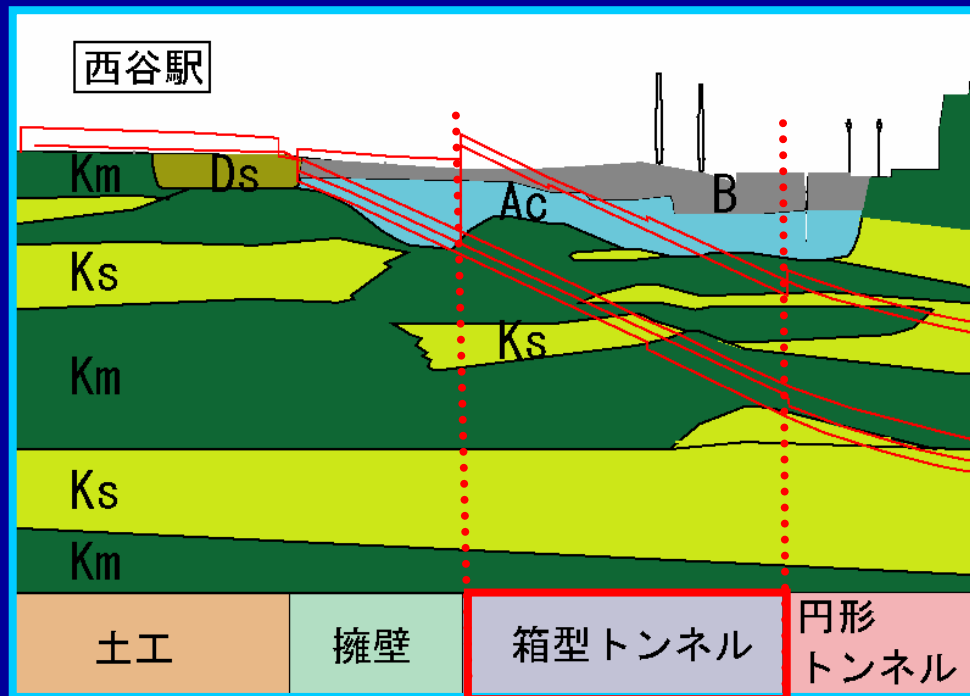
凡例

↔ 箱型トンネル区間

↔ 円形トンネル区間

予測結果（地盤沈下）

箱型トンネル区間



B : 混合土（盛土層）
Ds : 砂質土（相模層群）
Ks : 砂質土（上総層群）

Ac : 粘性土（沖積層）
Dc : 粘性土（相模層群）
Km : 砂質土（上総層群）

Lm : 粘性土（関東ローム層）

予測結果（地盤沈下）

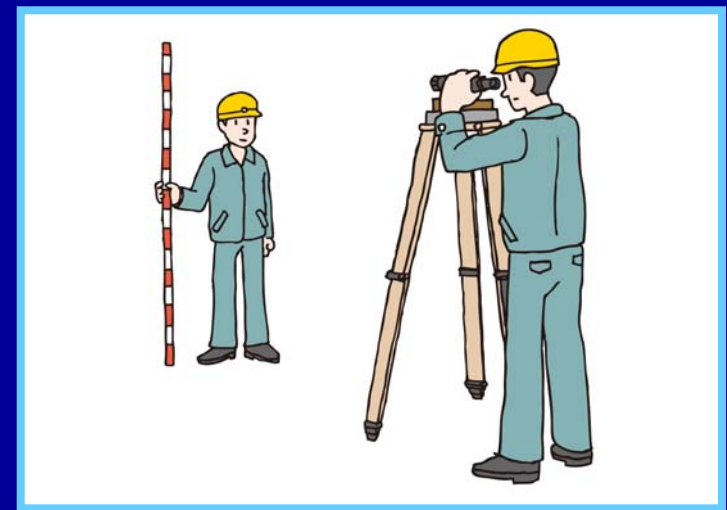
円形トンネル区間

- ・ 密閉型シールド工法の採用
- ・ 入念な施工管理
- ・ 必要に応じて止水対策を行う

予測結果（地盤沈下）

- ・ 工事に先立ち詳細な地質や地下水位の調査
- ・ 地域の状況に応じた適切な設計、適切な工法の採用
- ・ 工事着手前からの地下水位及び地盤変状の計測による適切な施工管理の実施

地下水位の変化に適切に対応し、問題が生じないようにします。



※ 環境保全目標
地盤沈下により、周辺住居等に著しい影響を及ぼさないこと

廃棄物・発生土

工事中

建設廃棄物及び建設発生土の発生

供用時

駅舎の供用時における廃棄物の発生

予測結果（廃棄物・発生土）

工事の実施により発生

- 建設廃棄物（建設汚泥、コンクリート塊など）
- 建設発生土

駅舎の供用により発生

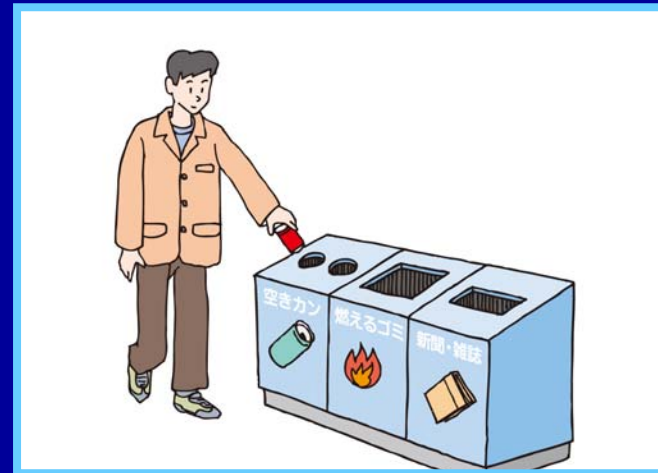
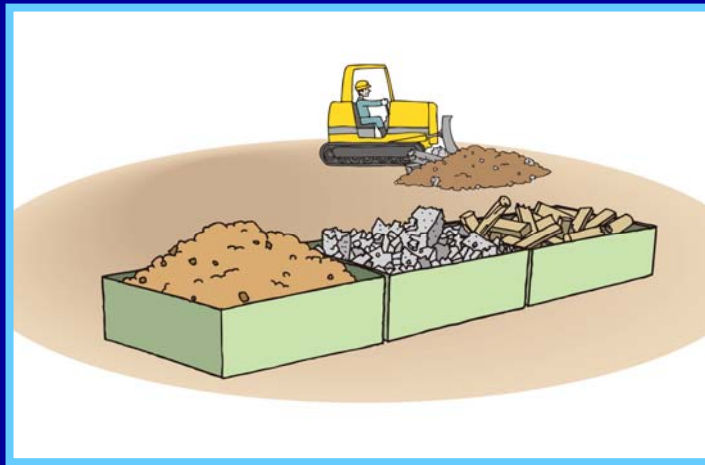
- 一般廃棄物、産業廃棄物（駅利用によるごみ）



関係法令等に基づき
適正な処理・処分を行います

環境保全のための措置の例 (廃棄物・発生土)

建設発生土の事業内での再利用、廃棄物の分別、リサイクルの徹底により、廃棄物、発生土の低減を図ります。



※ 環境保全目標

- (工事中) 工事によって発生する廃棄物・建設発生土の抑制に努め、適正な処理処分が行われること
- (供用時) 駅舎の供用によって発生する廃棄物の適正な処理、処分が行われること

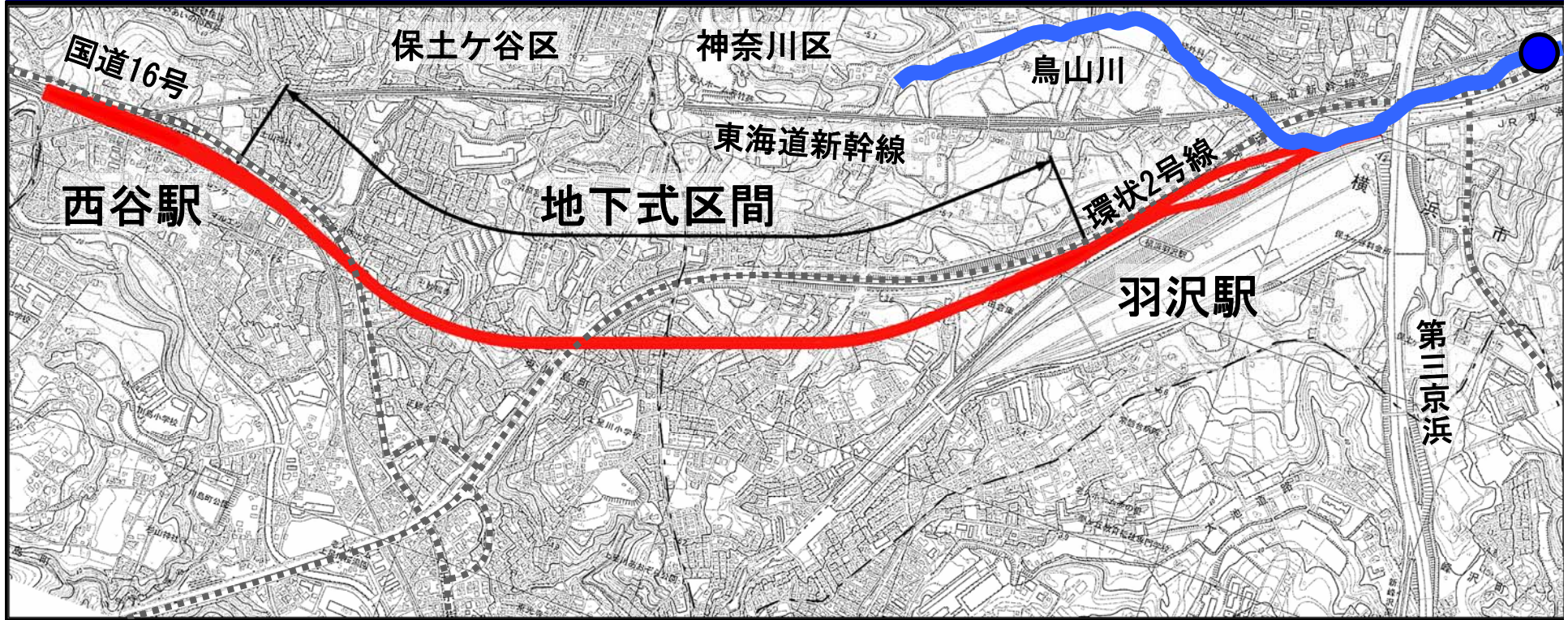
水 象

河 川

工事中

トンネル工事の排水による河川の形態、
流量への影響

予測地点（水象（河川））



凡 例

● 予測地点（河川の形態、流量）

予測結果（水象（河川））

予測地点	時期	鳥山川の 流量 ($\text{m}^3/\text{時}$)	工事 排水量 ($\text{m}^3/\text{時}$)	工事排水 の割合 (%)
鳥山川	豊水期	180	15	8.33
	渇水期	108		13.89

※ 環境保全目標：河川の形態、流量に著しい影響を与えないこと

水 象

地下水

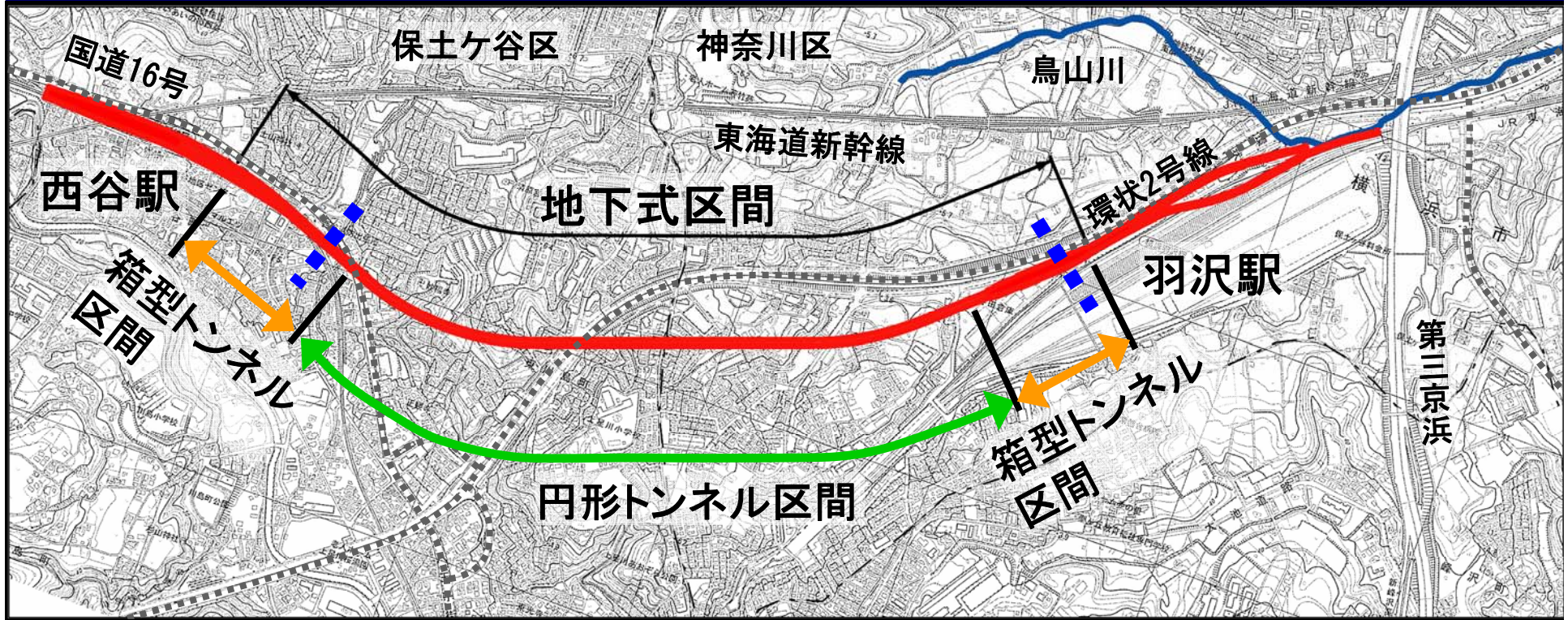
工事中

工事の実施による地下水位の変化

供用時

鉄道施設（地下式）の存在による地下水位の変化

予測断面（水象（地下水））



凡例

■ 予測断面（地下水）

予測結果（水象（地下水））

箱型トンネル区間

地下水位の変動

工事中：-1.20 ~ -1.87m

供用時：-0.40 ~ -0.50m

予測結果（水象（地下水））

円形トンネル区間

- ・ 密閉型シールド工法の採用
- ・ 入念な施工管理
- ・ 必要に応じて止水対策を行う

環境保全のための措置の例 (水象 (地下水))

工事着手前から地下水位を観測、地盤の変状を計測・監視、適切な施工管理を行うことで、問題が生じないようにします。



※ 環境保全目標

(工事中) 工事に伴って発生する地下水位の低下を極力少なくすること

(供用時) 供用時の鉄道施設の存在による地下水位の低下を極力少なくすること